

伊賀市 事務事業評価シート

一般事務

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
128	128	旧町村電算システム管理経費	01	01	一般会計
基本施策	99		02	02	総務費
			01	01	総務管理費
			09	09	情報化推進費
担当部課名		島ヶ原総務振興課	102	102	地域情報化推進経費
作成者氏名	山本 繁昌	連絡先	59-2053	04	旧町村電算システム管理経費
			細々目	04	

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	旧島ヶ原村の財務会計システムの保守・電算機借上事務	情報端末等の経費を安価に抑える。
本年事業内容	合併後新市において解約金を支払って新機種を導入するよりも、そのまま使用の方が安価であり合理的であるため下記2点について業務契約等を行った。 ・旧島ヶ原の財務会計システムの保守・電算機等借上を(株)松阪電子計算センターに委託 ・合併後も引き続き使用できるパソコンの契約使用のため保守契約も継続契約	
根拠法令・要綱等		

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
人件費合計(A)	720	720	720
②支出内訳(千円)	事業費(B)	557	1,048
	委託料	168	368
	使用料及び賃借料	389	680
	その他		
合計(A+B)	1,277	1,768	1,415
③財源内訳(千円)	特定財源		
	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
一般財源	1,277	1,768	1,415
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
旧村パソコンの稼働率	%	100	100	100			

情勢の変化及び事業の改善点等

旧島ヶ原村でのパソコンを伊賀市へ流用し、平成16年11月より情報系パソコンとして職員が使用しています。平成21年5月まで借用期間があります。

評価	達成度	3	新市において、解約金を支払って新機種を導入するよりも、そのまま使用の方が安価であり、合理的であります。
	効率性	3	